

国立競技場で20日に

子どもやお年寄り、障害者
ピポ・ユニバーサル駅伝

昨年のピポ・ユニバーサル駅伝で二番にスタートする参加者―新宿区で



るボランティアらが10人で1チームを構成し、20チームが参加する予定。競技場内のトラックコース(500m)を車いすの第1走者が、1周1kmの周回コースを走る4人が伴走者と走る。早さを競うのではなく、設定されたタイムに近い「びったり質」などが設けられている。

今回はライオンズクラブの東京地区が全面的にバックアップ。同地区の社会・障害者福祉委員会の秋富一美委員長(72)は「互いに支え合う社会を目指す素晴らしい試みで、他の地域にも広がってほしい」と話している。

また、大会では小学生の参加者を募集している。当日の飛び入り参加も可能。問い合わせは同法人(☎03・3350・1388)。当日は(☎090・5829・6151)。

【神足俊輔】

場周回コースで開催される。

同駅伝は互いの違いを認め、尊重し合いながら生きるユニバーサル社会の素晴らしさを体験してもらおうと02年に始まった。同法人の大塚公彦理事長(62)

は「参加者だけでなく、

応援に来る方々も含め、みんなにユニバーサル社会を感じてほしい」と話している。

小学生▽65歳以上の高齢者▽車いす使用者▽障害者▽フリースタイル(規定なし)の各

部門の5人と、伴走す

お年寄りや障害者、子供が互いの違いを乗り越えて1本のたすきをつなぐ、「第9回ピポ・ユニバーサル駅伝」(NPO法人「コミュニケーション・ス

キエア21」主催、毎日新聞社など後援)が20

日、新宿区の国立競技